

CASBEE[®] さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.2.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	佐竹マルチミクス(株)バイオ事業所	階数	地上3F
建設地	さいたま市桜区栄和1丁目530-1、534-1	構造	S造 一部RC造
用途地域	準工業地域、法第22条区域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,860時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年9月 予定	評価の実施日	2024年12月26日
敷地面積	1,527 m ²	作成者	
建築面積	842 m ²	確認日	2024年12月26日
延床面積	2,119 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年·m²)

②建築物の取組み 76% (46 kg-CO₂/年·m²)

③上記+②以外の 76%

④上記+ 76%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	特になし	
その他		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
全館禁煙とするなど、空気質環境にも十分配慮している。	階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。	緑地を設けることにより、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	ノンフロン断熱材を採用するなど、汚染物質含有材料の使用を回避している。	燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEEさいたま2016年版
佐竹マルチミクス(株)バイオ事業所

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.2.0

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.1
Q1 室内環境					0.34		-		3.0
1 音環境				3.6	0.15	-	-		3.6
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	-	-		
1.2 遮音				4.2	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		サッシ遮音性能T-2		5.0	0.60	-	-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-		
1.3 吸音		床:タイルカーペット、天井:岩綿吸音板		4.0	0.20	-	-		
2 温熱環境				2.3	0.35	-	-		2.3
2.1 室温制御				2.5	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.38	-	-		
2 外皮性能		外壁U=0.85、屋根U=0.67、床U=0.90、窓U=3.30、窓Sc=0.34		4.0	0.25	-	-		
3 ゾーン別制御性				1.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				3.2	0.25	-	-		3.2
3.1 昼光利用				1.8	0.30	-	-		
1 昼光率				1.0	0.60	-	-		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-		
1 昼光制御				3.0	1.00	-	-		
3.3 照度		事務室) 750lx		4.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御		事務室) 自動制御ができる		5.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				3.3	0.25	-	-		3.3
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質				3.0	1.00	-	-		
4.2 換気				2.6	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.33	-	-		
2 自然換気性能				1.0	0.33	-	-		
3 取り入れ外気への配慮		空気取り入れ口は各種排気口と6m以上離れて設置		4.0	0.33	-	-		
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.3
1 機能性				3.0	0.40	-	-		3.0
1.1 機能性・使いやすさ				2.3	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				1.0	0.33	-	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33	-	-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		事務室) 天井高2.7m以上		4.0	0.33	-	-		
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33	-	-		
3 内装計画				3.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		トイレは清掃しやすい内装材、外部の鉄部に亜鉛メッキ処理等		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		建物の維持管理に適切な設備を設置している		4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-		3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.1	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		事務室) 床:タイルカーペット20年、壁:塗装15年、天井:ボード30年 工場) 床:塗装20年、壁:塗装15年、天井:鋼板40年		4.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水汚水雑排水管の主要用途3種の2種以上にC以上を使用		4.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				3.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		節水型器具を採用、緊急排水槽の設置、中水の利用		4.0	0.20	-	-		
3 電気設備		非常用発電設備設置、電源設備等の地下空間への設置を回避など		4.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		光ケーブル、メタルケーブルなど通信多様化、精密機械を地下空間に設置していないなど		4.0	0.20	-	-		

CASBEEさいたま2016年版
佐竹マルチミクス(株)バイオ事業所

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.2.0

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.1
Q1 室内環境					0.34		-		3.0
1 音環境				3.6	0.15	-	-		3.6
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	-	-		
1.2 遮音				4.2	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		サッシ遮音性能T-2		5.0	0.60	-	-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-		
1.3 吸音		床:タイルカーペット、天井:岩綿吸音板		4.0	0.20	-	-		
2 温熱環境				2.3	0.35	-	-		2.3
2.1 室温制御				2.5	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.38	-	-		
2 外皮性能		外壁U=0.85、屋根U=0.67、床U=0.90、窓U=3.30、窓Sc=0.34		4.0	0.25	-	-		
3 ゾーン別制御性				1.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				3.2	0.25	-	-		3.2
3.1 昼光利用				1.8	0.30	-	-		
1 昼光率				1.0	0.60	-	-		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-		
1 昼光制御				3.0	1.00	-	-		
3.3 照度		事務室) 750lx		4.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御		事務室) 自動制御ができる		5.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				3.3	0.25	-	-		3.3
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質				3.0	1.00	-	-		
4.2 換気				2.6	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.33	-	-		
2 自然換気性能				1.0	0.33	-	-		
3 取り入れ外気への配慮		空気取り入れ口は各種排気口と6m以上離れて設置		4.0	0.33	-	-		
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.3
1 機能性				3.0	0.40	-	-		3.0
1.1 機能性・使いやすさ				2.3	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				1.0	0.33	-	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33	-	-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		事務室) 天井高2.7m以上		4.0	0.33	-	-		
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33	-	-		
3 内装計画				3.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		トイレは清掃しやすい内装材、外部の鉄部に亜鉛メッキ処理等		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		建物の維持管理に適切な設備を設置している		4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-		3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.1	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		事務室) 床:タイルカーペット20年、壁:塗装15年、天井:ボード30年 工場) 床:塗装20年、壁:塗装15年、天井:鋼板40年		4.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水汚水雑排水管の主要用途3種の2種以上にC以上を使用		4.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				3.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		節水型器具を採用、緊急排水槽の設置、中水の利用		4.0	0.20	-	-		
3 電気設備		非常用発電設備設置、電源設備等の地下空間への設置を回避など		4.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		光ケーブル、メタルケーブルなど通信多様化、精密機械を地下空間に設置していないなど		4.0	0.20	-	-		